

WIPO 知的財産の活用



WIPOが設立された理由

WIPOは知的財産に関する政策策定、サービス、情報の提供、協力の促進のためのグローバル・フォーラムです。

当機関は独立採算の国連専門機関で、知的財産の活用によるイノベーションと独創性の促進を任務としています。

WIPOは、知的財産とイノベーションには密接な関連性があると考えています。知的財産は、アイデアや独自の創作物を生み出した個人に報いることに関わっています。それはイノベーションや新たな解決策への企業の投資を奨励することにつながります。それはあらゆる人の利益のためにイノベーションと独創性を実現する手段です。

なぜWIPOは設立されたのでしょうか。その理由は、知的財産を有効に利用して、あらゆる地域の人々がその利益を享受できるようにするには、国際的な知的財産システムを効率化する必要があります。世界中から容易にアクセスできるようにする必要があります。また、イノベーションや独創性という果実の生産者と消費者の利害を調整する、国際的に合意された一連のルールも必要です。WIPOはこうしたニーズに応えることを使命として活動しています。

WIPOの役割は、189カ国の加盟国すべての政府、企業および個人がイノベーションの原動力として知的財産の潜在的可能性を実現できるようにすることです。なぜなら、どのような社会においてもイノベーションは人類の進歩を促進する強力な原動力の1つだと考えるからです。

WIPOの目標は、知的財産が全ての人に役立つようにすることです。





知的財産は、世界中のイノベーターと創作者を奨励し、報いるために存在します（20ページの人物紹介を参照）。

知的財産とは何か

知的財産（IP）は一般的に「知的な創作物」を表すものといわれています。知的財産には発明、文学的および美術的著作物、意匠、商業上使用される記章、名称および画像などが含まれます。

知的財産は、特許法、著作権法、意匠法、商標法などの法律によって保護されています。こうした法律の下、発明者や創作者は自らの創作物について評価を得、それを他者がどのように利用するかを決定する権利を得ることで金銭的利益の獲得が可能になります。

知的財産の ための グローバル・ フォーラム

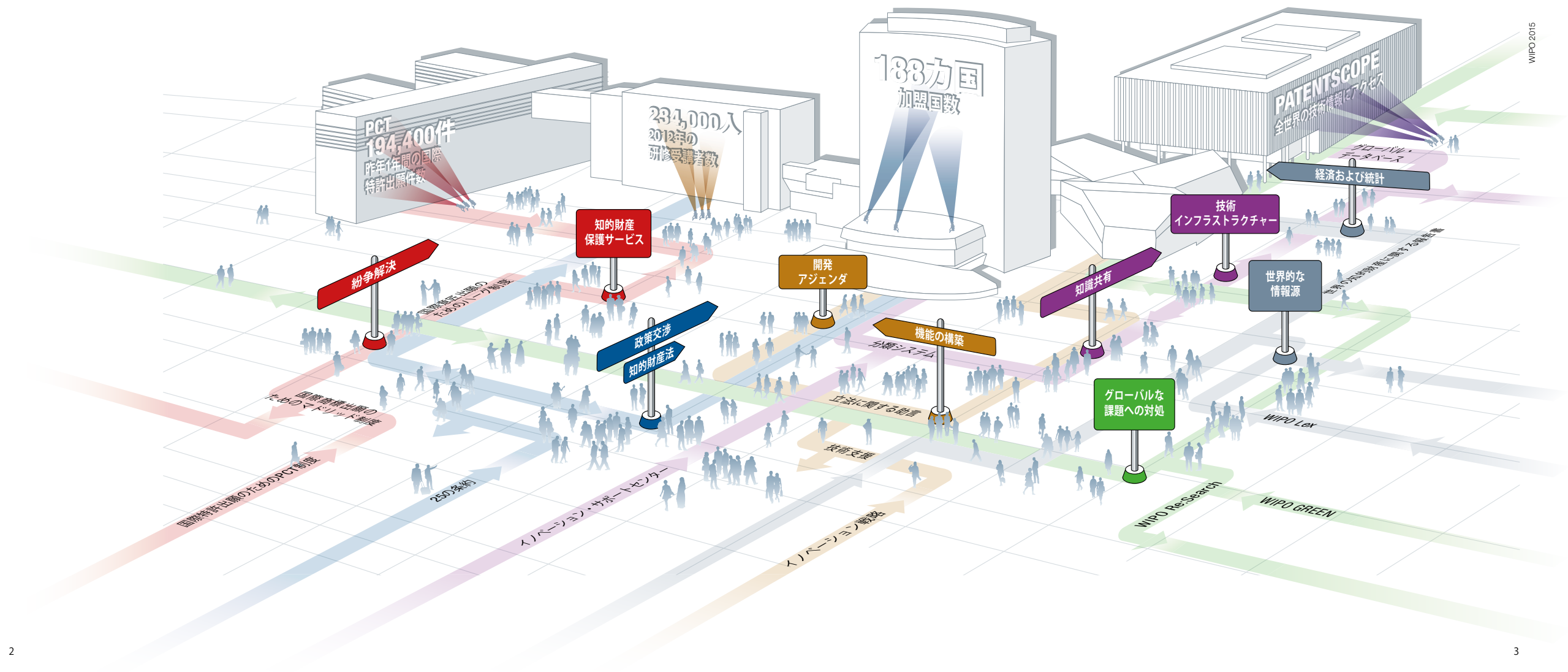
政策

サービス

インフラストラクチャー 開発

ソリューション

そして情報



世界の変化に 合わせて知的財産 に関する国際 ルールを策定

今から約130年前に各国政府は知的財産に関する初の国際条約を締結し、知的財産の国際的な法的枠組み構築の基盤が築かれました。当時締結した協定である工業所有権保護に関するパリ条約、および文学的および美術的著作物の保護に関するベルヌ条約は今日も知的財産システムの中核を成しています。

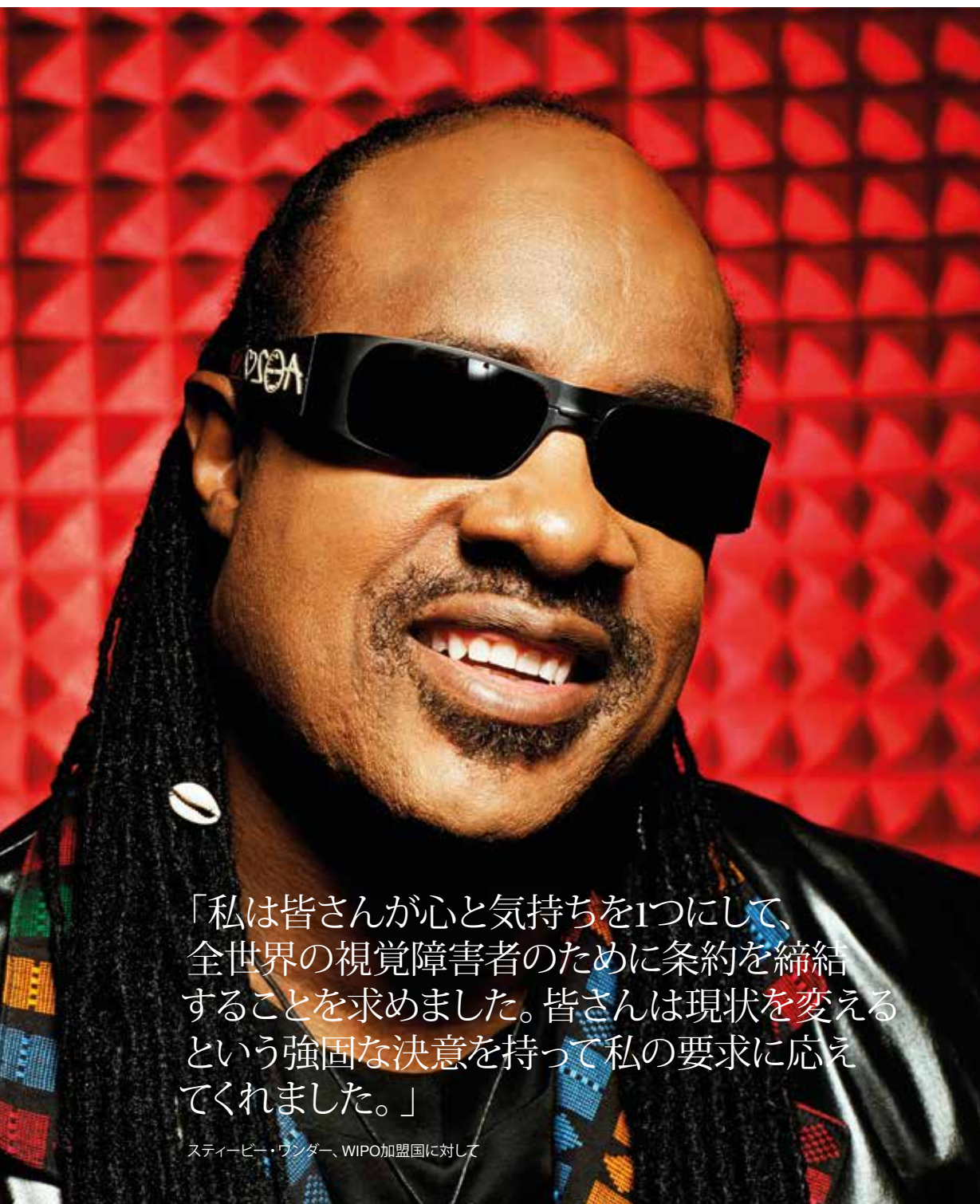
しかしながら世界は、これら最初の条約の起草者のあらゆる想像を超えて目覚ましい変化を遂げています。そのため、デジタル化と相互接続が進んだ今日および将来のグローバル社会のニーズを満たすには、知的財産法を常に変化に適合させなければなりません。

WIPOでは、各国政府、業界団体および市民組織が集結し、進化を遂げる知的財産の課題に協力して取り組むグローバルな政策フォーラムを提供しています。

視覚障害者のための著作権の活用

全世界で毎年発行される100万冊の出版物のうち、点字やデジタル化したオーディオ版など、視覚障害者が利用できる形式で提供されているものは現在5%足らずに過ぎません。こうした状況が変わろうとしています。2013年、WIPO加盟国はマラケシュにて、全世界の2億8,500万人の視覚障害者およびその他の識字障害者の出版物へのアクセスを向上させる新たな国際条約を採択しました。ポップ界の大家アーティスト、スティビー・ワンダーはかつてWIPOを訪れ、この条約の「締結、確定および履行」に向けた交渉を進めるよう要請しました。その願いは実現しました。

写真：Corbis Outline / アン・ドリュエー・マクアーンソン



「私は皆さんが心と気持ちを1つにして、
全世界の視覚障害者のために条約を締結
することを求めました。皆さんは現状を変える
という強固な決意を持って私の要求に応え
てくれました。」

スティービー・ワンダー、WIPO加盟国に対して

意匠登録に関する ルールの簡素化

加盟国および非政府組織は、著作権、特許法、商標法、意匠および地理的表示のほか、遺伝資源、伝統的知識や伝統的文化表現（フォークロア）についての各WIPO委員会を定期的に開催しています。

同委員会の任務は、イノベーションと独創性の実現に向けて国際的な知的財産システムを有効に活用するために必要な変更や新しいルールについて交渉することです。ジュネーブにあるWIPO事務局では、複数言語を理解する職員がこうした作業をサポートします。



写真：WIPO/E・ペロー

商標・意匠・地理的表示に関する常設委員会（SCT）では、国際的な意匠登録の手続きを簡素化する方法について加盟国が合意を探っています。

「人々は、知的財産システムは極めて静的だという印象を抱いています。知的財産システムが先住民族の利害や伝統的知識を取り入れて、いかに大きく進化しようとしているのか理解していません。そこで私は帰国のためWIPOを去るときに知識とともに希望も持ち帰りました。」

ジェニファー・タウリ・コープス、WIPOの先住民族フェロシップ・プログラムにて

知的財産を活用した、 伝統的知識の促進

WIPOの先住民族フェローシップ・プログラムでは毎年、先住民族コミュニティの構成員を招き、WIPOの伝統的知識チームと共同で活動を行っています。これまでにオーストラリア、ボリビア多民族国、フィリピン、ウクライナおよびタンザニア連合共和国からフェローを招きました。2012年の先住民族フェローに選ばれたジェニファー・タウリ・コープス氏は弁護士で、フィリピン・コルディエラ地域のカンカナイ・イゴロト族です。ジェニファーは、伝統的知識、伝統的文化表現／フォークロアおよび遺伝資源を保護する新たな国際法の策定を目的とするWIPOの交渉への先住民族の参加を促すリーチアウトを支援しました。

国境を越える知的財産保護 のためのグローバルなサービス

企業やイノベーターは発明、ブランドおよび意匠を複数の国において保護するための、簡単に費用効率のよい手段を必要としています。WIPOの知的財産国際出願サービスはそれらを確実に保護する上で役立ちます。

このサービスはPCT制度、マドリッド制度、ハーグ制度およびリスボン制度から成り、出願者は国際特許出願、もしくは商標、意匠または原産地名称の登録を1回行うだけで、それぞれの制度のすべての締約国で同様の効果を得ることができます。

世界的に有名なWIPOの**仲裁調停センター**は、インターネット・ドメイン名紛争などの紛争において、高額な費用を要する訴訟に代わる手段として様々な紛争解決サービスを提供します。

「LGでは、人々の生活を変えるオンラインワンの製品を作るため、テクノロジーと意匠の調和に努めています。」

チャ・ガンヒ、エレクトロニクス業界において最も売れ行き好調なLGのイノベーションの多くを陰で支える立役者

当機関の職員の約半数はこうした知的財産のグローバル・サービスを日々提供する業務に直接従事し、全世界のユーザーの変化しつつあるニーズへの対応に努めています。当機関の有料サービスによる収益は年間予算収入の90%以上を占め、当機関のすべての活動に使われています。



写真：LGエレクトロニクス

テクノロジー・リーダーのために

LGエレクトロニクスは、研究とテクノロジーに対する数十億ドルの投資を守る目的でWIPOの**PCT国際特許出願制度**を利用しています。LGは、韓国が1984年にPCTに加盟して以来、同制度を通じて8,000件以上の国際特許出願を行い、今ではPCT制度の下での特許出願件数において世界上位を占めています。

当機関の特許および商標出願制度は、イノベーターおよび規模の大小を問わずすべての企業による知的財産の活用を支えています。

「特許によって、我々は製品を商品化するために必要な法的保護を得ることができます。WIPOの活動は我々のノウハウを守る上で役立っています。」

アブドゥル・ムニル博士



写真：エバン・キャントウエル/クリエイティブ・サービス/GMU

倅約のイノベーションのために

バングラデシュの農村地域に住む数百万人の住民は、ヒ素で汚染された井戸水を飲料水としているため、ヒ素中毒のリスクにさらされています。アブル・ハッサン教授とアブドゥル・K・N・ムニル博士の兄弟2人は、ヒ素に汚染された水を安全な飲料水に変えるSONOフィルターを発明し、賞を受賞しました。両者はこのテクノロジーを世界の他の地域の人々の生命を救うために役立てたいと考え、**PCT制度**を通じて同フィルターの特許を取得しました。

「当社が真の資産および富と考えるものを確実に守るには商標の保護が欠かせません。マドリッド制度のおかげでその手続きが簡素化および効率化されました。」
ブラヒム・モクビル

Ingelecの財務担当ディレクター



写真：ユセフ・カティン

企業のために

製造する電気機器の安全性によってブランドの評価が左右されるモロッコの企業、Ingelecにとって**商標**は重要な意味を持っています。同社は商標の国際的な保護のために、WIPOの**マドリッド制度**を最優先の選択肢として選びました。

「私は、デザインとはものと人と環境とを調和させる手段と考えています。」

パトリシア・ウルキオラ、デザイナー

デザイナーのために



写真：パトリシア・ウルキオラ

数々の賞を受賞したスペインのデザイナー、パトリシア・ウルキオラはイタリア企業、フロスで家具をはじめとする製品のデザインを行うほか、建築設計も手がけています。日本の鎧の骨董品から発想を得たこのランプを含め、同氏の**意匠**は**ハーグ制度**を通じて国際的に保護されています。



写真：パトリシア・ウルキオラ

製品の原産地に誇りを 持つ人々のために



写真：デイビッド・モラー-COCLA Peru

ペルー産グリーン・コーヒー豆、Café Machu Picchu Huadquiñaは先頃、WIPOの**リスボン制度**の下で**原産地名称**として登録されました。この名称はペルー南部クスコ県のマチュ・ピチュの北にある約1,600ヘクタールの特別指定地域で有機的に栽培されたグリーン・コーヒー豆のみに使用することが認められます。この地域のコーヒー栽培農家の共同組合は他者による同ラベルの使用を阻止することが可能になったため、顧客は購入するコーヒーが本物のカフェ・マチュ・ピチュかどうか判断できるようになります。

写真: www.ronaldinho10.com



WIPOによる代替的な紛争解決: 迅速かつ柔軟性に富む、直接的な救済手段

ブランド所有者のために

サイバースクワッター（ドメイン占拠者）が他人の名前やブランドをインターネット・ドメイン名として不法に登録する問題は、ロナウジーニョやティナ・ターナー、J・K・ローリングなどの著名人を含む世界中の商標所有者や個人を悩ませています。しかし、名称を取り戻すための訴訟には多額の費用と時間がかかる場合があります。WIPOの**仲裁調停センター**は、統一ドメイン名の紛争解決ポリシー（UDRP）に基づき、明白なサイバースクワッシング問題を処理するため、訴訟に代わる費用効率のよい方法を提供します。

写真: ガッティ・イメー・イメージス / GAB Archive / レッドフアーンズ



写真: ガッティ・イメー・イメージス / デイビッド・モンゴメリー



写真: ガッティ・イメー・イメージス / ショ・オオタ



Air Asia



写真: フリッカー / ダニエル・オグレン

システムを接続し、知識を共有するために知的財産の技術インフラストラクチャーを構築

デジタル・テクノロジーは、地理的な場所に関係なく、作業を分担し、データおよび知識を共有するほぼ無限の可能性を生み出しています。取り組みの重複を避け、特許処理の迅速化を図るため、様々な国の特許庁が作業の成果を共有する傾向は次第に高まっています。

また多くの国は特許文書のデータベースを共有し、全世界のイノベーターに貴重な技術情報へのアクセスを開放することに合意しています。

こうしたことを円滑に遂行するために、様々な国の知的財産システムの「相互利用」を可能にし、データを交換するための、共通の技

術標準を各国特許庁は必要としています。そうしたデータへのアクセス、ナビゲート、利用を可能にするため、適切なツールを自由に利用できるようにする必要もあります。

WIPOは各国特許庁と調整しながら、あらゆる地域の人々が技術情報に容易にアクセスし、利用できるよう、全世界で相互利用可能なツールと技術標準の開発に取り組んでいます。

こうした知識共有のためのインフラストラクチャーは、知的財産システムの下で生成された豊富な情報への迅速で、自由かつ普遍的なアクセスを可能にすることにより公平な環境を醸成する上で役立ちます。



写真：WIPO

「物理的経済に参画するには商品を輸送するための道路、橋、車両を利用可能にする必要がありますが、知識経済への参画にも同様のインフラストラクチャーが必要です。ただしこの場合、高速道路はインターネットであり、橋は相互利用が可能なデータの規格であり、車両はコンピューターとデータベースです。」

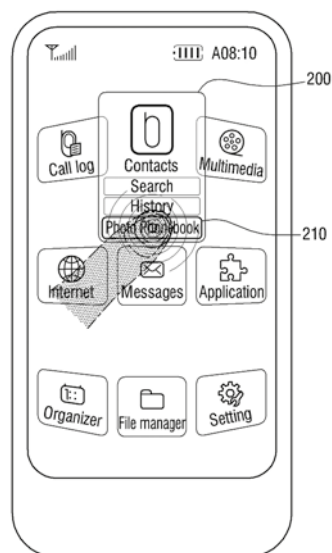
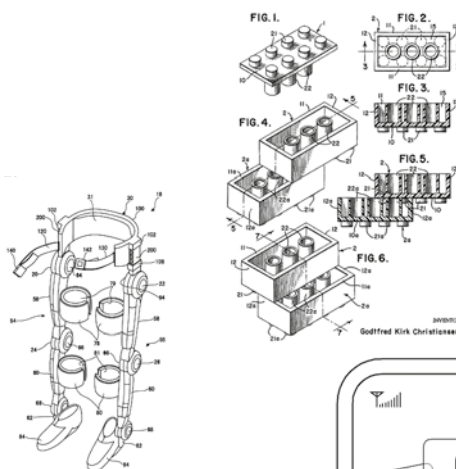
フランシス・ガリWIPO事務局長



国際的な特許制度の下で、無料で利用できる技術情報の巨大なデータベースが形成されています。その仕組みを見てみましょう。新規発明について提出される特許出願はいずれも2つの役割を果たします。まず、発明者または特許権者の権利を保護します。そして新技術に関する詳細な専門的情報を公開して、他の人が誰でもその情報から学べるようにします。

こうした特許文書の情報はイノベーターにとって宝の山です。当機関は3,200万以上の特許文書を格納した**PATENTSCOPE**を構築しました。科学者、エンジニア、デザイナー、発明者をはじめ、インターネットへの接続が可能な人は誰でもマウスをクリックするだけでこの情報にアクセスすることができます。

35カ国以上の国の特許庁は科学者、研究者および企業が特許情報の恩恵を享受できるよう、WIPOの**技術・イノベーション・サポートセンター (TISC)** プログラムと協力してセンターのネットワークを構築しました。ロシア連邦では、WIPOはロシア特許庁（ロスパテント）と協力して、約80カ所のセンターで研修やサービスを実施しています。



知的財産を活用した、 WIPOの開発支援

人間の創意工夫や創造力は、どの国にも豊富に存在する天然資源です。また、どの国も、特色のある、素晴らしい特産品を生産しています。ただ、そのような資源を市場で売り出す資産に変えるための知的財産活用方法を知っているコミュニティはそれほど多くありません。

WIPOは、国連機関の1つとして、すべてのコミュニティが知的財産をから恩恵を受けることを望んでいます。

そのため、各国政府やその特許庁が知的財産を活用する機能を構築できるように支援しています。イノベーションや知的財産政策を国の開発戦略に統合するためのアドバイスや、バランスのとれた適切な法的枠組みの策定についてのアドバイスも提供しています。特許・商標処理システムのアップデートや、国民の知的財産運用スキルの向上などの分野でも支援を行っています。

WIPOの開発アジェンダは、WIPOが関係する全分野を網羅しています。そして、WIPOのあらゆる活動において、開発に関する考慮事項を調和のとれた形で確実に統合していきます。

知的財産戦略を活用して、地場産品の価値向上を目指す

パナマ、タンザニア連合共和国、タイおよびウガンダでは、小規模農業経営者が、**商標、認証マークや地理的表示**といったブランド戦略を活用して、高品質な地場産品の収益を増やせるよう、WIPOは支援プロジェクトを推進しています。このザンジバルでのプロジェクト（右）では、島の主要な換金作物であるクローブの栽培を奨励し、ザンジバルがこの香辛料の主要な輸出地域として再び世界中から認められることを目指しています。



写真：タイビッド・フナークス/ズンジェネレーション・アライアンス

知的財産運用スキルと知識の育成

エジプトにあるアレクサンドリア図書館で主任弁護士兼知的財産担当役員を務めるHala EssalmawiはWIPOアカデミーの卒業生です。彼女はまず初めにジュネーブで実施された若手知的財産プロフェッショナル向け研修コースに参加し、著作権、電子商取引、一般的な知的財産法に関するディスタンス・ラーニング・コースを修了した後、トリノ大学の知的財産マスター・プログラムに参加する20名の年間WIPO奨学生の1人に選ばれました。

写真: iStockphoto/ホルガー・メッテ



写真: WIPO/E・ペロー



「私はWIPOアカデミーを通じて世界のいろんな国の専門家とネットワークを作りました。ピア・サポートや各国の知識を得る上でこのネットワークは非常に頼りになります。」

Hala Essalmawi、アレクサンドリア図書館

グローバルな課題を克服するための実践的な解決策

WIPOは、気候変動、公衆衛生、食料安全保障といった、人類が直面している重大な課題を克服するための画期的な技術的解決策の探求を促進する役割を知的財産が果たすと考えています。

WIPOはこうした課題に関するグローバルな政策協議に専門知識、情報、アイデアおよび分析の面で貢献しています。また、実践的な解決策を追求しています。

知的財産分野全体のステークホルダーを集め、人類の利益のための知的財産活用を可能にするコラボレーション・プラットフォームを構築するパートナーシップを作ります。

「今日、科学分野で公衆衛生にプラスの影響を与える大きな仕事をしたい場合は、よいパートナーを見つけることが推奨されます。WIPO Re:Searchはそのきっかけを提供します。Re:Searchは、通常であれば相互に関わることのないようなグループ間の活動を調整することによって、顧みられない疾病の研究を加速します。」

デニス・リオッタ、エモリー大学



顧みられない疾病に 対処するための連携

顧みられない熱帯病、結核、マラリアを患っている人は10億人を超えています。WIPO Re:Searchのパートナーシップ・プラットフォームはそうした疾病の新しい治療法の研究開発を促進するために、コラボレーションを推進し、利用可能な知的財産資産、専門知識や技術、リソースの公開データベースを提供します。パートナーとしては、ガーナのクマシ熱帯医学共同研究センターのEllis Owusu-Dabo博士（右下）、米国エモリー大学で化学の教授を務め、2つの最先端のHIV薬物治療法を含む50の特許を持つデニス・リオッタ教授（左下）などが挙げられます。



写真：WIPO/E・ベロー

写真：WIPO/E・ベロー

知的財産の事実と数値を参照するための世界的な情報源

議論が白熱すると、知的財産に関する協議が進まなくなることがよくあります。議論が過熱すればするほど、事実をはっきり突き止めることは難しくなる可能性があります。しかし、政府の意思決定者は、知的財産に関する政策がビジネス、経済または技術の動向に実際に与える影響を理解するために信頼できる統計と客観的な分析を必要としています。

WIPOは実証的な研究、データ、報告書および統計を作成できる特異な位置づけにあります。これらは、政策当局やビジネスリーダーが知的財産の使い方を証拠に基づいて決定するために必要な情報を提供します。

イノベーションの原動力

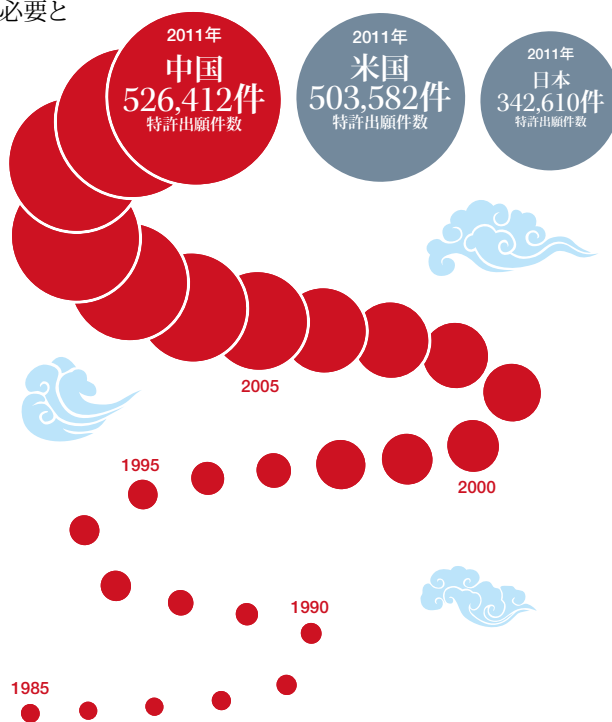
毎年発表されるグローバル・イノベーション・インデックス (GII) は140カ国以上を対象としてイノベーション能力を査定し、イノベーションを進展させる状況について評価します。WIPOは世界トップクラスの経営大学院であるフランスのINSEADおよび米国のコーネル大学と共同でGIIを発表しています。



写真: WIPO

「WIPOの主要エコノミストが提供するイノベーションに対する洞察力と全世界を網羅するWIPO大使が私たちに利益をもたらしています。」

ソウミトラ・ダッタ教授、グローバル・イノベーション・インデックスの共同執筆者

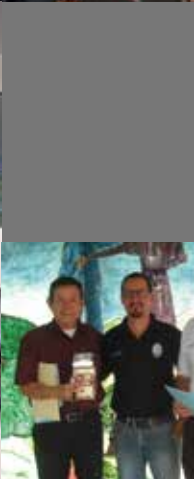
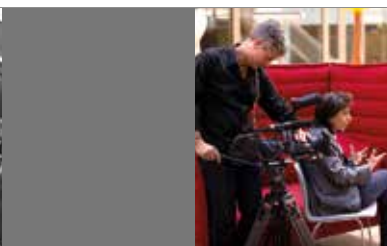


デザイン: LargeNetwork

WIPOの職員、加盟
国およびステーク
ホルダーは共通の
目標を共有していま
す。その目標とは、す
べての人に**恩恵を
もたらす効率的で
利用しやすい知的
財産システムを实
現することです。**

WIPO 知的財産の活用





写真：Zainul A. Majeed

写真：ITSC, Honduras

写真：David Blakemore

写真：Yuan Wenming

2～3ページのイノベーター ーおよび創作者の紹介

1		2		12			13	
	3		14		15	16		17
4		5		18		19	20	21
	6		22			24		
7		8		26	23	27		25
	9		28		29			30
10		11		31	32			33

1ーオーヴィル・ライトおよびウィルバー・ライト
(航空機製造のパイオニア、米国)

写真：議会図書館

2ーボブ・ディラン
(シンガー・ソングライター、米国)

写真：ゲッティ・イメージズ/フレッド・W・マクダラー

3ーワシリー・カンディンスキー
(抽象絵画の創始者、ロシア連邦)

写真：不詳

4ーオーギュスト・ルミエールおよびレイ・
ルミエール
(映画の創始者、フランス)

写真：Collection Institut Lumière

5ーヘディ・ラマー
(携帯電話やその他の無線通信を可能
にするスペクトラム拡散技術の発明、
オーストリア)

写真：アルフレッド・アイゼンスタット

6ーパブロ・ルイス・イ・ピカソ
(芸術家、スペイン)

写真：アンダーウッド&アンダーウッド/CORBIS

Succession Picassoの厚意により提供

7ーマーク・トウェイン
(作家、米国)

写真：議会図書館

8ーオーソン・ウェルズ
(俳優、作家、映画監督、米国)

写真：Library of Congress/Carl Van Vechten Collection

9ーマリ・スクウォッドフスカ・キュリー
(物理学者、科学者、放射線研究の先駆者、
ポーランド/フランス)

写真：議会図書館

10ージョージ・A・フラー
(建築家、近代高層建築の「発明家」
として高く評価されている、米国)

写真のビル：デトロイト・フォトグラフィック・カンパニー

11ーガブリエル・ガルシア・マルケス
(作家、コロンビア)

写真：©Isabel Steva Hernandez Colita/Corbis

12ーフランク・ロイド・ライト
(建築家、米国)

写真：議会図書館

デイビッド・ヘルド©The Solomon R.

Guggenheim Foundation、ニューヨーク

13ーファン・セバスチャン・オソリオ
(生物医学エンジニア、乳児の睡眠時無呼
吸を回避する装置を発明、コロンビア)

写真：MITテクノロジー・レビュー・ファ

ン・セバスチャン・オソリオ

14ーミリアム・マケバ
(歌手、南アフリカ)

写真：©James Andanson/Apis/Sygma/Corbis

15ーラリー・ページおよびセルゲイ・ブリン
(グーグルの創業者、米国/ロシア連邦)

写真：FOX/SIPA

16ーマスード・ハッサーニ
(製品デザイナー、地雷除去装置
の発明、アフガニスタン)

写真：ハッサーニ・デザイン

17ーQixin Chen
(電気工学者、電力浪費を削減す
るソフトウェアの発明、中国)

写真：ゲッティ・イメージズ/ジェレミー・ワッサーマン

18ーレオポール・セダール・サンゴール
(詩人、作家、セネガル)

写真: ©Louis Monier/Rue des Archives

19ーGopalan Sunderraman
(起業家、エンジニア、インド)

写真: WIPO/E・ペロー

20ースティーブ・ジョブズ
(起業家、発明家、アップル・インクの共同
創業者、米国)

写真: WIPO/E・ペロー

21ーデイビッド・コビア
(ソフトウェア・エンジニア、災害時救済
のための情報を共有するWebプラット
フォーム、Ushahidiの構築、ケニア)

写真: イボンヌ・ボイドーushahidi.com

22ールイ・パスツール
(科学者、微生物学者、低温殺
菌法の発明、フランス)

写真: ナダール

23ーヒュー・ハー
(エンジニア、生物物理学者、ロボ
ティクスを駆使した義肢とランニ
ング・ブレードを発明、米国)

写真: ショーン・G・ヘンリー

24ーDiébédo Francis Kéré
(建築家、ブキナ・ファソ)

写真: WIPO/E・ペロー、エリックジャン・オウワーカーケ

25ーアンソニー・アタラ
(外科医、再生医療、人工的に培養した臓
器の初の開発および移植、ペルー/米国)

写真: スティーブ・ジャーベットソン/ウェイク・フォ
レスト・パブリティスト・メディカル・センター

26ーパトリシア・バス
(眼科医、白内障の治療装
置を発明、米国)

写真: 国立医学図書館

27ーオマール・スレイマン
(音楽家、シリア・アラブ共和国)

写真: アレックス・ウッドワード

28ーピクトル・ユーゴー
(作家、文学的および美術的著作物の保護
に関するベルヌ条約を推進、フランス)

写真: ナダール

29ージェフリー・フォン・マルツァーン
(生物医学エンジニア、栄養、環境持続性
および健康に関する課題に対する解決
策を多数考案する若手発明家、米国)

写真: ハーバード大学—MIT健康科学およびテクノロジー部
門—MITサンギータ・パティア研究室の厚意により提供

30ー真鍋大度
(アーティスト、プログラマー、ビ
ジュアル・ジョッキー、日本)

写真: 関和亮

31ーケネス・コボンブエ
(家具デザイナー、フィリピン)

写真: ケネス・コボンブエ

32ー袁隆平
(農業科学者、初のハイブリッ
ド米品種を開発、中国)

写真: ©Imaginechina/Corbis

33ーケイナーン
(ラッパー、シンガー・ソング
ライター、ソマリア)

写真: Seher Sikandar for rehes creative

世界知的所有権機関

34, chemin des Colombettes
P.O. Box 18
CH-1211 Geneva 20
Switzerland

電話番号: +41 22 338 91 11
ファックス: +41 22 733 54 28

WIPO外部事務所の問い合わせ先はウェブサイト
www.wipo.int/about-wipo/en/offices/
をご参照ください。

WIPO Publication No. 1060JP
ISBN 978-92-805-2708-7